



# 2018年 カンボジアスタディツアー

2018年3月12日(月)~3月19日(月)8日間

**派遣国** カンボジア  
**派遣地** シムリアップ県 シムリアップ市 ポー村(BICC)  
**派遣日程** 2018年3月12日(月)~3月18日(月)8日間  
**派遣人数** 6~8名  
**派遣内容** カンボジアの子供達との文化交流・技術提供  
**派遣宿泊** BICC(ポスコ国際文化センター)2F(ポスコハウス)  
**参加費用** ¥200,000(世界遺産アンコールワット遺跡見学を含む)  
 (旅費・宿泊費・食費(外食は個人持ち)、研修費、現地ガイド費、観光費等)  
**参加条件** ボランティア意識、語学力(中学生英語程度)、協調性、健康  
 ボランティア活動準備研修会参加(11月・12月・1月・2月・3月5回開催)  
 第一回研修会日程:2017年11月12日(日)14:00 VIDESセンター

**活動日程予定計画**

- 3月12日(月) 成田空港出発
- 13日(火)~14日(水) ポー村小学校ボランティア
- 15日(木) BBS(ポスコ日曜学校ボランティア)
- 16日(金)~17日(土) ポー村小学校ボランティア
- 18日(日) アンコールワット・トム観光 夕方空港へ
- 19日(月) 成田空港到着

参加ご希望の方は2017年11月12日(日)までに、Email:videsjp@gmail.com  
 またはTEL.FAX.03-3906-0070(VIDES事務局)にご連絡ください。

## VIDES JAPAN 14 活動内容

<p><b>海外ボランティア</b>                  アジアの子供達との交流。                  カンボジアの子供達と学生達に技術指導。</p> 	<p><b>VIDES 学資援助</b>                  アジアの貧しい子供達の学資援助。                  ●カンボジア/ポスコ・サンデースクール(BSS) 小学生 ¥30,000(年間)支援。                  ●カンボジア/ポスコ・ベーカーズスクール(BBS) 専門学生 ¥60,000(年間)支援。</p>	<p><b>リストラテ VIDES</b>                  VIDESの紹介と活動資金調達                  ●毎月1回 第2水曜日(但し、7・8・9月除く) 年間9回、本カーサマイン食堂にてイタリアンパスタのレストランを運営                  ●調理、デリバリー、会場準備、設置、洗い場、片付け</p> 	<p><b>フレンドシップ</b>                  児童養護施設「星美ホーム」の子供とのスキンシップ、2~5才児との遊び。                  第2日曜日、子供と一緒に遠足。随時。</p>
<p><b>MAC LOVE</b>                  パソコン(Mac)を使って事務処理援助。                  VIDESセンターにて事務局事務処理援助。                  インターネットによる広報活動。</p>	<p><b>フリーマーケット</b>                  アジアの貧しい子供達への援助。                  年間5~6回、赤羽公園、教会バザーにて実施。物品仕分け・整理、運搬、販売。随時。</p> 	<p><b>VIDES 山中サレジオ山荘</b>                  富士山の麓、山中湖山麓に建つVIDES山中サレジオ山荘。                  4~10月オープン。毎年1月1日受付開始。                  自然の中で人間性と人生観を深める様々な体験の場を提供。                  EX) 黙想会、コーラスグループ合宿、イタリア料理講習会。</p>	<p><b>ランチショップ</b>                  アジアの貧しい子供達への援助。                  第1・3・4水曜日、午前9時30分から。各種お弁当をアルマ・マーテル(修学院)にて調理、短大にて販売。</p>
<p><b>VIDES マイン</b>                  各種事情時の宿泊、生活スペースの提供ボランティア。                  自立を目指す青年達の体験学習支援活動。</p>	<p><b>海外物資援助</b>                  アジアの貧しい子供達に衣類、学用品、その他物資援助。</p> 	<p><b>VIDES アカデミー</b>                  若者の個性、特技(音楽、美術作品、絵画等)発表の場を提供。</p> 	<p><b>VIDES 祈りの会</b>                  毎月1回、VIDESの活動を祈りによって支え、世界平和と人々の幸福を願って祈る会。修学院聖堂にて実施。</p> 
<p><b>VIDES カルチャー</b>                  個人の隠れた才能の開発促進援助と文化交流提供。                  AZ「工芸教室」、HA「ハンス・アンジェラ」~祈りと共にソート! 売上で活動資金調達。講師も随時募集。</p>	<p><b>VIDES ショップ</b>                  青少年の心身の育成のため、2010年4月より星美学園内で軽食と語らいの場を提供。</p>		

# VIDES NEWS



VIDES NEWS 第37号 2017年4月発行  
 VIDES日本管区 事務局 vol.37



## XI CONVEGNO INTERNAZIONALE



# VIDES 国際大会開催!! 2016.7.16~18 "Salesianum", Roma, ITALIA

今回は、ローマのサレジオ会本部の会議場で開催。  
VIDESの創始者Sr.Maria Grazia Caputoと  
総責任者Sr.Leonor Salazar (どちらもサレジオン・シスターズ)のご臨席のもと、  
世界各国から約120名の会員達、特に多くの若者が参加。  
日本からは、事務局長の染谷博史、前事務局長の中川摩夜はじめ、  
若者3人とシスター1名、そして、ローマ留学中の2名のシスターが、翻訳や様々なお世話のために駆けつけた。



## 隣人愛 山田真人

今回の国際大会の主なテーマは、「隣人愛」であり、ルカによる福音書10章25節から37節に描かれているものでした。その物語に登場するサマリア人のように、私たちにとって身近な状況に自らを傾けていくということが必要とされています。こうした態度が、VIDESの「開発」(Sviluppo)の本来の意味で、ドン・ボスコの教育の精神に基づいたものです。

VIDESの活動は、教育を通して、特に若い人々の成長を促していくことと切ってもきれない関係を持っています。世界大会における多くの国々の発表を聞く中で、私は、彼らがそれぞれ独自の文脈で、固有の困難を抱えながら、その地元の人々の立場にどう寄り添えるかを考えているということを感じました。それぞれの地域の困難を抱えて人々がまず絶対に必要としているものは食べ物です。しかし、それらを作るため、もしくは手に入れるためには、教育も必要となります。彼

らにただ与えるだけでは、本来の意味での援助とはなっていない。彼らはその援助を受けた状況を保持し、自らを養っていかなければいけないのです。そうなることを援助していくことが、開発の本当の意味です。

ドン・ボスコは、若い人々に近寄り、話しかけ、彼らに細かいことまでいろいろと聞いていました。例えば、彼らの出身地、学校についてなどです。そして

そのあと、彼はその若い人々と一緒にオラトリオ(作業場)に行き、彼らの背景に合った仕事を提供していきました。こうした若者への寄り添い方を通じて、ドン・ボスコは彼らを知るようになり、そして彼らは自分自身を知る機会を持つようになります。そして、彼らは自分自身を変えていく希望を持つこととなります。

こうしたドン・ボスコと若者の関係性のモデルは現代においてもまだ必要とされているものです。ルカの福音書で描かれているサマリア人は、単に宿に行っただけにとどまりませんでした。彼は次の



日のことも視野に入れ、その追剥にあった男性のためにお金を置いていきました。(10章35節より)こうした意味での愛の土壌に、ドン・ボスコの教育の精神は根を下ろしています。もし私たちが今日において、この精神を生かすことが出来れば、私たちは本当の意味で、サレジオ会の精神に基づいてボランティアができると思います。世界大会の中で最も重要なテーマは、この精神がイエス様からドン・ボスコに引き継がれ、私達にもそれが引き継がれているということを確認するためだったと思います。

日本において、私たちは特に若い人々の間にある精神的な貧困やあらゆる困難を目の当たりにしています。こうした問題は、彼らの周りにある物質的な豊かさにも関わらず現実化しているものです。ここで明らかであり、それゆえに避けられない事実は、彼らが家庭と学校だけでは生活しにくいということです。だからこそ彼らには第三の場所が必要です。また、私たちは教会の外に目を向け、現代社会について熟考していく必要があります。

「あなたも行って同じようにしなさい」(ルカ10:37)は、私たちVIDESにとって重要な意味を持っています。この「同じ」という言葉は、「同じように」という意味での解釈ができるギリシャ語の言葉です。私たちは頻りに現実のものとして見たくないものとたくさん直面します。しかし、イエス様はいつも私たちに、それらと直面するように招いています。だからこそ、私たちはそれらを見る努力をする必要があります。私たちはそれを、イエス様と「同じ」やり方ではなくても、イエス様と「同じような」やり方で

することができます。

「行って」という単語は命令形で書かれています。私たちはこのイエス様から来る強い招きを意識し、イエスに従って彼と同じように、私たちの文脈でその招きに答えていかなければいけません。

この国際大会の中で、私は現代の社会でボランティアをすることが難しいことであると感じました。また、世界中に広がっていくことができるドン・ボスコの深い精神と、イエスの福音を感じることができました。世界中のVIDES会員の皆様、ありがとうございました。

## 素敵な出会いがたくさん 丹野早紀子

今回、初めて世界中のメンバーを実際に見て、VIDESは私が考えていた以上に大きく、奥が深いものだということに気付かされました。微力ですが、私もその中の1人として今まで活動して来られた事に、嬉しく思いました。国際会議の他には、各国のお土産販売や出し物の披露がありましたが、大規模な



国際交流をしている様でとても楽しかったです。

肌の色も国籍も違う私達が、「VIDES」という1つの共通点を持っているという事に、不思議な気持ちがありました。私は以前から韓国語を勉強していたこともあり、特にVIDES コリアのメンバーと親しくなりました。VIDESを通してできた縁を、これからもずっと大切にしていきたいです。

素敵な出会いがたくさんあった世界大会は、私にとって一生の思い出です。これからもずっとVIDESに関わっていきたいと改めて感じました。





# VIDES 国際大会

## 「私たちの志」

鈴木彩織

自分を愛すること、周りを愛すること、VIDESメンバーとしての誇りとこれからの生き方について.....私たちは会議を通し多くを考える機会を頂きました。

ボランティアの在り方について考えるワークでは「その概念を忘れるほど自然にお互いを助け合えるのが理想だ」という印象的な意見がありました。

私たちにとって与える生き方、即ち分かち合う生



き方(=イエスの生き方)を模範にして生きるとはときに難しく感じるかもしれません。それは種を蒔くような生き方であり、そのときは何も無いようにみえてしまうからです。しかし、蒔けば後々実をつけます。ボランティアが必要な無い社会や助け合いがそれぞれの生き方として在る社会を理想に描きながら、無理のない範囲でできることはたくさんあります。それが「それぞれの場所で必要とされていることを聞き、解決に向けて実行していく」というVIDESの志です。

各国から集まった全員でその志を再確認し、絆を深められたことに感動しました。この素晴らしい体験のためにサポートしてくださった全ての方々に感謝します。



## VIDESは世界を変えることができる希望の光!

(サレジアン・シスターズ総長の言葉より)

Sr.牧山 史子

稲川シスターの代行という役目を仰せつかって、不安のうちに初めて参加しましたが、貴重な体験をさせていただいたと感謝しております。

準備段階から会議までの企画・運営、当日の司会進行はじめグループワークや記録、機器操作等の運営全てを若いスタッフ達が細やかに配慮し動いていました。しかも、スタッフのほとんどは社会人で医師・教育や報道関係の仕事や家庭をもっているの、会議終盤、少し早めに帰途につく方々も



いました。それでも、これほどの企画をし、自分の持つ専門職や技術をボランティア活動や集会のために活かし、さらにもっと若いメンバー達の養成のために心と手を差しのべ、正に惜しまず自分を提供している姿を目の当たりにしました。世界中のVIDESは、このような若者達によって生き生きと活動しているのです。

VIDES JAPANの3人の若者達も、今日の日本に生きる会員として取り組み始めた活動を山田君の流暢な英語で堂々と発表してくれました。多くの参加者は、日本の子ども達の「貧困」に驚きを隠せませんでした。また、VIDES JAPANのカンボジアでの歩みのような活動を、ポーランドや他国が開始していることも嬉しいことでした。

VIDESの活動が、サレジアン・シスターズの青少年司牧分野のひとつとして正式に宣言されて初めての国際大会に参加し



## ～隣人愛～

2016.7.16~18  
"Salesianum", Roma, ITALIA



た多くの若者を見ながら、VIDESは、若者が現実・事実を正確に「知る・見る・体験する」具体的な手助けをし、自分の命・人生の意味を考え、方向付ける時と場を与える活動であることを確認させられました。そのために、大人は、彼らに教え示唆を与えて支え、何よりも共に活動することや自分の生き様を通して、若者を、ドン・ボスコが言っていた「よき市民・社会人」として育てていく義務があるのではないかと感じました。

## 相手の立場にたって Sr.坂井 佐奈栄

7月、ちょうどローマ滞在中であった私は、日本からの参加者の皆さんと一緒に、VIDES国際大会に参加させていただくことができました。修道会に入る前、VIDES会員であった私にとっても、大きな恵みであり、貴重な体験でした。

一番印象深かったことは、グループでのディスカッションの中でアルゼンチンの一人の若者が語ってくれたことです。彼女たちは、貧しい人たちの中に入って行く時に車を使って赴き、そこでの活動を展開していたそうです。しかし、ある時「この貧しい人々には、交通手段としての車がない」ことに気づき、自分たちも現地まで何時間もかけて、車を使わず、現地の人達と同じ生活スタイルを体験しながら関わりを続けることになったと言いました。VIDESとして活動し

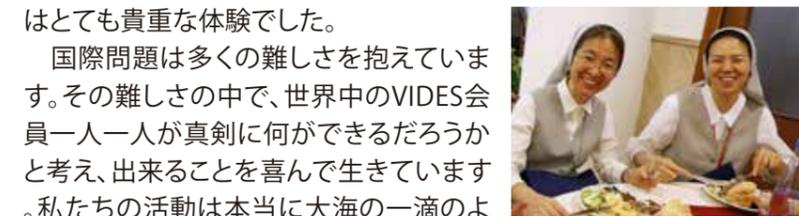


ている中でも、ボランティアは「何かをしてあげること」ではなく、「一緒にすること」であることを何度も体験しました。相手の立場にたつて、相手と心を共にするとき、見えるもの、味わえるもの、通じるものがあるのではないかと改めて感じることができた会議でした。

## 共に考え、分かち合う Sr.松永照美

今回、ローマ留学中ということもあり、VIDES国際大会に参加する機会をいただきました。様々な国のVIDESで展開されている活動を知る機会にもなりましたが、何よりも大会で多くのVIDESメンバーと出会い、共に考え、分かち合うことができたことはとても貴重な体験でした。

国際問題は多くの難しさを抱えています。その難しさの中で、世界中のVIDES会員一人一人が真剣に何が出来るだろうかと考え、出来ることを喜んで生きています。私たちの活動は本当に大海の一滴のような活動かもしれませんが、その一滴がなければ何も変わりません。世界中に広がる一滴の希望、若者たちと国際大会で出逢いました。一滴の希望が繋がっていくこと...「連帯」。国籍、文化、宗教などを超えて「人」としての「いのち」の連帯が広がっていきますようにと心から祈りつつ、今置かれている場所で希望の一滴として喜びのうちに生きていきたいと思っています。



## VIDES国際大会に参加して

事務局長 染谷博史

初めての国際大会、そしてイタリアでした。英語もイタリア語もわからず参加しましたが、松永シスターが隣で通訳してくださり、少しは理解できました。

世界各国のVIDES会員たちの報告を聞き、それぞれの国々で活躍する姿を垣間見ることができました。日本からも若者がもっと多く参加して、世界に触れることが出来たら素晴らしいことだと思いました。

VIDES TOKYO  
**VIDES**  
 秋のスマイルフェスタ  
 ビビオ de ハロウィン開催!

10/30 (土) 七福神広場

ビビオの店舗会の皆様のご協賛のもと、VIDES主催の「秋のスマイルフェスタ、ビビオdeハロウィン」を、ビビオ赤羽七福神広場にて開催しました。

今回は、ビビオのハロウィンの企画と一緒に、VIDESとしてもボランティア精神のもと参加する形で、イベントを行いました。



スタッフがハロウィンの仮装をし、バイオリン、ギター、サクスの演奏では、子ども達が喜ぶような音楽を演奏することを通して、イベント全体が活気にあふれたものとなりました。また、星美ホームの子ども達による可愛いダンス、そしてマンマ・マルゲリータの生涯を描いた劇を通して、彼女の人的魅力を伝えることで、私たちVIDESとサレジオ会の精神を少しでも届けることが出来たと思います。



持てたことがとても印象的でした。これからも、たくさんの方々とともに、VIDESの活動を上げていきたいです。



VIDES TOKYO  
**VIDES**  
 春のスマイルフェスタ  
 世代を越えて、一緒に楽しむ日曜日!!  
 5/8 (土) 七福神広場

オブザーバー会(大学生を中心としたVIDES会員のグループ)を中心に、赤羽の方々と地域交流を兼ねて、ビビオ赤羽、スポーツクラブネサンス赤羽の皆様のご協賛のもと、ビビオ赤羽七福神広場にて「春のスマイルフェスタ」を開催し



ました。主な趣旨は、世代を超えて、多くの人々に関わる機会を持ち、赤羽の地域活性化のお手伝いをさせて頂くことでした。

また、私たちVIDESとしては、こうした地域のイベントに参加させて頂くことで、若者を中心に多くの人々が社会に開かれた活動を体験し、人々とのたくさんの関わりを

通してボランティアの精神を育てていくことを考えて、今回のイベントを行いました。内容としては、金魚すくいやヨーヨー釣りなどの昔ながらの遊びや、ブンブン駒を作って遊んでみるワークショップを行い、親子連れも含め、たくさんの人と楽しい時間を過ごすことができました。

また、演歌やルネサンスさんの体操を通して、世代を越えて多くの人々と一緒に楽しめる時間ができたことに、とても感謝しています。今後も地域とのつながりを絶やさず、活動をしていきたいと思っています。



また、演歌やルネサンスさんの体操を通して、世代を越えて多くの人々と一緒に楽しめる時間ができたことに、とても感謝しています。今後も地域とのつながりを絶やさず、活動をしていきたいと思っています。



# Cambodia Volunteer カンボジアボランティア



年末年始を利用して、主に教職員対象で実施しているボランティア体験です。BSSと公立のポー村小学校で、情操教育分野(音楽・図画工作・体育など)を中心とした授業を行います。子ども達のみならず、国の未来を担う彼らの教育に携わるカンボジアの学校の先生方もいっしょに学んでいます。もちろん、世界遺産の御膝元シュムリアップ市ですから、アンコールワット見学もセット!今回は、2016年12月26日から2017年1月2日、稲川シスターの引率で3名が参加しました。VIDES会員でカンボジア・スタディー・ツアー経験者の娘さんから勧められて参加したという、元高校の社会科教諭の丹野さん、目黒星美学園卒業生の石神さん、昨年度も参加した城星学園卒業生の清久さんです。



## 再会!!喜び!!

清久 真衣

今回は2回目のカンボジア・ボランティア参加でした。昨年出会ったたくさん子どもたちと再会しました。覚えてくれていたことで、今回のボランティアは昨年よりも濃い関わりができ、とても充実した時間を過ごすことができました。



授業は昨年に引き続きリズムをしましたが、子どもたちの自由な表現に私もつられてしまうほど楽しい授業を行うことができました!他の先生方の授業も面白く、牛乳パックで竹とんぼを作ったり、全力でサッカーやポートボールをしたりと、私自身も心から楽しめる授業内容でした。

今回は授業を楽しんだだけでなく、沢山の人の新しい出会いが、私をさらに成長させてくれました。それは、今までカンボジアのボランティアに関わってきた方々、そして、昨年より1年間カンボジアでダンスを教えたきた素敵なボランティアの若者、同行してくれたシスター。それぞれの人の思いや様々な経験の話聞く機会があり、私の心の中へスーッと入り、言葉にはできない素晴らしい感動を覚えました。私も頑張ろう!と励まされた気がしました。

沢山のひとと出会えたり、自分の力を試すことの出来るこの素敵なボランティアに来年も参加したいと思います。



## 輝く笑顔が美しい

石神 総子



カンボジアでは、小学生くらいの子どもたちが小さな弟や妹、知り合いの赤ちゃんをあやしながら、遊んだり学んだりしているので、保育士として働く私にはかなりの衝撃でした。しかし、ボランティアとして授業をさせてもらうことになり、子どもたちに竹とんぼの作り方を教えたり、一緒に遊んだりして、子どもの嬉しい時や楽しい時の笑顔を見ると、子ども



たちを取り巻く環境は違っても子どもたちの笑顔は同じように輝いていると、気づくことができました。このボランティアを通して、どんな環境にいても子どもたちが笑顔を見失わず、未来に希望が持てるように、私たち大人が示していきたい、日本にいてもカンボジアにいても目の前の子どもたちの笑顔に絶やさぬように大切にしていきたい、と強く思いました。

今回、ご縁あってカンボジアという初めての国で、人生初めてのボランティアに参加できたことは、神様のお恵みをたくさん受けることができた貴重な経験だったと心から感謝しています。



## ボランティアに初めて参加して 丹野廉三

ボランティアの実施内容は事前の打ち合わせでおおよそ決めていきましたが、現地ではアドリブの連続でした。ポー村小学校でのサッカーに関して言えば、校庭らしきものは見あたらず、野犬やニワトリがうろつく細長い広場があるだけ。適当な空き地に椅子を並べてゴールとしミニゲームを行いましたが大半の子どもたちは裸足でした。



このような状況でもゲームが始まれば、子どもたちはめまぐるしく動き回り、ゴールが決まれば大いに盛り上がり、スポーツに国境はないのだということを改めて感じました。

だいたいがこのような感じだったので、みんなが協力し合いチームワークのよさで乗り切れたと思います。また、カンボジアの子どもたちの笑顔にも大いに癒されました。

そして、そのような子どもたちの笑顔に接し、子どもたちの生活する環境を思った時、本当の豊かさとはなんだろうか?ということも考えさせられました。



## 目黒星美学園小学校の「愛のポシェット」をポー村小学校に贈呈!!

この派遣団には、ボランティア先の2つの小学校に支援物資を運んでもらっています。その中には、東京の目黒星美学園小学校の全校児童が夏休みのボランティアとして保護者の皆様と取り組んでいる「愛のポシェット」があります。この写真は、今年ポー村小学校に届けた時の写真です。

この取り組みは、2005年ブノンペン(ドン・ボスコ)小学校へ送ったのが最初で、2009年にBSSが開始されたときから今の2校にVIDESのボランティアグループによって送られてきています。2012年からは、定期的に目黒星美小の先生が同窓生が参加し送り届けています。



## 2017年度VIDES「カンボジアボランティア」参加者、今年度も募集します!

**派遣期間** 2017年12月26日(火)~2018年1月2日(火)8日間  
**派遣先** カンボジア王国 シュムリアップ州 シュムリアップ市 ポー村  
**派遣人数** 6~8名(同行スタッフ1名含む)  
**活動内容** カンボジアのシュムリアップのポー村小学校(公立)と、Bosco Sunday School(ボスコ日曜学校)で、音楽・美術・体育など情操教育分野での授業を行う。  
**活動予定** 12月26日 成田出発(午前)→ハノイ経由(ベトナム航空)→シュムリアップ着(午後)  
 12月27~31日 ボランティア授業、遺跡観光等  
 1月1日午後 シュムリアップ発(機中泊)→1月2日朝成田着  
**宿泊先** ボスコ国際文化センター(BICC)2階ボスコハウス  
**参加費用** ¥250,000(交通費、遺跡入館料、手数料等を含む)  
**応募対象・条件** ~教員経験のある方、子どもの教育に関心をもつ成人男女~  
 ●ドミトリー形式での共同生活なので、協調して生活やボランティア活動ができること

●主体性、異文化を尊重する精神と違いを柔軟に受け止め臨機応変に対応すること。  
 ●帰国後、地域や学校において経験を生かした活動を行うこと。  
※活動予定、参加費は、現地の事情により変更する場合がありますのでご了承ください。※出発前に少なくとも2回の研修会を致します。  
**申込について** \*今年度参加希望者は5月の連休前に、その他のお問い合わせ等は、下記にご連絡ください。詳細をお送りします。  
 ●シスター稲川 孝子 E-mail:videsjp@gmail.com  
 または電話/FAX 03-3906-0070(VIDES事務局)  
 ●シスター牧山史子 TEL(目黒修道院)03-3724-8883  
 または、携帯 070-4094-7683  
※日中は対応できませんので、お名前と電話番号をご伝言ください。後程こちらからお電話致します。  
 \*パスポートの有効期限が、カンボジア入国予定日から6か月以上残存することをご確認ください。持っていない方は、早めに連絡ください。すぐに申請していただくことになります。



「こんばんは!」とチャイムの音と共に子どもたちの元気な声が聞こえると、スタッフの間には笑顔が広がります。初めて来たときには緊張していた子が、帰り際に「また来るね」と言ってくれること。また本当に来てくれることがスタッフの喜びです。まだ課題はありますが、利用する皆が過ごしやすい環境を作ることに尽力しますので、温かく見守っていただけると幸いです。

# 共にすごす居場所 HAPPY ハッピーハウス HOUSE

私にとって、自然と居心地の良い場所になっています。[スタッフ]

私たちは、赤羽星美のサレジオシスターズが母体の、VIDESという女子国際ボランティアグループです。生きづらさを感じる青年が多いこと、一人で夕食を食べる子どもが増えていることを知り、私たちにできることは何かと考えました。そして、一つの食卓を囲んであたたかい食事をし、一緒に遊び、勉強し、おしゃべりすることができるハッピーハウスを始めました。

## ハッピーハウス スケジュール

17:00 集合  
18:00 夜ごはん  
みんなで献立を考えたり、調理したり。  
19:00 おしゃべりタイム・自由時間  
20:00 帰宅  
駅まで一緒に帰ります。  
小学生はお迎えに来ていただくか、ご自宅までお送りします。

学校や家以外のつながりが  
できました。[スタッフ]

スタッフはシスター稲川をはじめ、主に大学生です。サレジオシスターズはカトリックの女子修道会ですが、ハッピーハウスでは宗教は問いません。小学生から大学生、いろいろな人との出会いの中で、共にいるあたたかさを感じ、一人ひとりがありのままにいられる居場所でありたいと思い、活動しています。

活動日  
火曜・木曜 17:00-20:00

連絡先  
稲川 孝子  
videsjp@gmail.com

ウェブサイト  
まもなく開設予定!

VIDES 'Casa di Misericordia'



## Bosco Bakery School 便り



カンボジアの貧しい青少年の『食』と『職』を支援するために発足したボスコ・ベーカリー・スクールも今年で開校10年目を迎えます。

現在は、Russy Geushouse、543hotelなど、ホテルやレストラン、カフェからの委託注文\*1を受け、パンドミや食パン、フランスパン、バーガーパンズなどをおろしています。またAngkor Marketなどのブース\*2にも、美味しいパンを置いて販売しています。

BBSの卒業生は6名、他の職業に就いた青年もいますが、皆元気に過ごしています。PHROM社長と初期からのチーフMr. VATANAK、今年で7年目になるMr. VANNYをはじめ3年目のMr. LOURT、Miss.LINもとても頑張っています。

正規の仕事の他に、現地観光会社やNPOともタイアップし、隣接地の日曜学校の子供達を交えたスタディーツアー、パン焼き体験なども加えて運営しております。パン焼き体験に訪れた学生達と日曜学校の生徒との触れ合いにも美味しいパンは一役かっています。

ここまで多くのホテルやレストランに指示されてきたのは、スタッフが「どんなときもクオリティを落とさない」というコンセプトをしっかり実施してきた結果の実り。日本のパン職人から伝授された技術はしっかりカンボジアの青少年に受け継がれ、それが食と職を安定させた結果、直接彼らの幸せに結びついたことは本当に嬉しい限りです。

このBosco Bakery Schoolを拠点に日曜学校のBosco Sunday Schoolが発足。そして、昨年、隣接地にVIDESの支援を離れてカンボジア人の力だけで運営する事をコンセプトに、ゲストハウス・ボスコハウスと共にBosco International culture centerもオープンしました。小さな支援から大きな支援へ、そしてその国の『人』が育って行くことは本当に素晴らしいことです。

カンボジアの発展とともに、運営の源になるBosco Bakery Schoolの運営も今後は変容して行くことと思いますが、これからは彼らの夢の実現のため、微力ながら関わっていきたくと思っています。皆様も是非、アンコールワット観光時はボスコハウスに宿泊して美味しいパンを味わってくださいね。

中川 摩夜

\*1 Russy Geushouse, 543hotel, baby elephant hotel, dream coffe, Snow coffe, Sister Srey resturen, Redpino Resturen, Wold loud Resturen, New leaf coffe, Youngle buger, chally Bar, haven resturen以上12ヶ所のホテルやレストラン、カフェ  
\*2 Angkor Market 1, Angkor Market 2, Angkor Market 3, trangle marketのブース

# 静岡 V I D E S 便り

## 今年の主な活動

4月 紙バンドでのかご作り 10月 ハロウィン リース作り  
6月 サレジオバザー出店 紙バンドでかごを作ろう!! 12月 クリスマス リース作り

4月  
バザー出店のため、  
かご作りの練習をしました。



上手に  
できましたよ!



6月  
サレジオ祭 バザーにて  
子ども達と一緒に  
紙バンドのかご作りをしました



なかなかうまいね・・・  
ひとつひとつ丁寧に作って、  
偉いね・・・感心だね・・・

お兄さんたち、  
熱心に教えてくれました!  
ありがとう

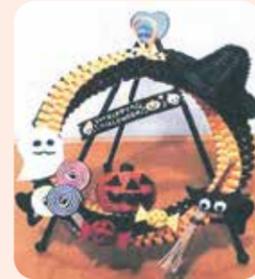


紙バンドの  
トナカイだよ



10月  
ハロウィンリース

12月  
クリスマスリース



同窓会からも  
参加して  
いただきました。  
ありがとう  
ございました。